

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスサンフラワー			
○保護者評価実施期間	令和7年2月 3日		～	令和7年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	令和7年2月20日		～	年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多彩な活動プログラム	制作・運動・頭体操・視覚・音あそびの視点から構成される 屋内はもちろん自然豊かな環境である屋外を使う遊びや活動、 プログラムの展開	感覚統合をベースに捉え多角的に子供たちの発達を促し、経 験値を上げていくために、まずは職員間で感覚統合について 知見を深める。
2	職員間の利用者理解や業務内容に関する振り返りの機会の多さ	ミーティングや話し合う機会を週に2～3回以上取っている。	その場で出た意見や今後の支援での取り組みをどのように共 有して共通認識を持って言行動していくかが課題。そのため のシステムもしくは伝達方法が必要。
3	災害に備えた各種訓練の開催頻度	能登半島地震後、避難訓練はもちろん日々の備蓄や準備、災害 食に渡るまで毎月利用者と共有する機会を持っている。	不審者や原子力、消火器の使い方など様々な角度からの訓練 を展開していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報共有の方法	勤務時間や送迎の行き来で全体で集まる機会が少ない。 情報の共有の方法が定着していない	情報を共有するため方法の構築とその周知と定着
2	家族支援	家族に根拠ある説明をおこなったり。支えることができる人材 育成がなされていない 研修参加の機会の少なさ 個々の学習意欲に頼っている部分が大いところ	特性理解や対応の学び 施設内外の研修参加及びその研修報告による勉強会 事例検討会
3	余暇の使い方	自由時間の使い方に対する引き出しが少ない 提供するものの少なさ 天候によって活動が限定されてしまうこと	遊びを増やす。新しい遊びやスポーツのルールの把握や今あ るカードゲームや玩具をどのように提案するか、子供たちが わかりやすく選びやすい形を模索する。